

トリーディングママがゆく⑦0 レポ リチウムイオン電池の回収問題 市政

横浜市会議員 伏見ゆきえ

報道でも頻繁に取り上げられてはいる通り、被災が多発しています。

深刻な問題です。

あります。

スマートフォンやモバイルバッテリーなどに使われるリチウムイオン電池が、誤って「燃やすごみ」として捨てられ、ごみ収集車や処理施設で火

これを受けて国は、来年4月からモバイルバッテリーやスマートフォンなどのリチウムイオン電池を内蔵した製品について、事業者への回収とリサイクルを義務化する方針を発表しました。

横浜市では12月から

現在横浜市では、リチウムイオン電池が取り外せない製品は「燃やすごみの日」に集積場所に出せる一方、取り外した電池は市民が自ら「リサイクル」



伏見ゆきえ

2015年に横浜市区議員初当選。現在3期目。

連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町390-8
アトリエール102 ☎045・443・5757 / ☎045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

クルボックス」に持ち込む必要があります。この複雑な捨て方や手間が誤った処分を招き、火災に繋がっている可能性があります。

これを踏まえて、9月12日の一般質問で私は、リチウムイオン電池の回収・処理体制について市長に質問いたしました。市長からは「リチウム電池の集積場所での収集を速やかに実施し、市民の安心な暮らしを確保し、利便性の向上を図っていく」と答弁がありまし